



よこはまこくさい

神奈川県立横浜国際高等学校



所在地: 横浜市南区六ツ川1丁目731番 〒232-0066

電話: (045)721-1434

F A X: (045)742-9493

U R L: <https://www.pen-kanagawa.ed.jp/yokohamakokusai-h>

創立: 平成19(2007)年11月(平成20(2008)年4月開校)

課程: 単位制による全日制

設置学科・生徒数・学級数

	1年	2年	3年	計
国際科	157	155	155	467
(国際バカロレアコース)	25	24	25	74
学級数	5	5	5	15

(生徒、学級数については令和5年4月1日現在)

〈学校案内図〉

利用交通機関

- 京浜急行線弘明寺駅より徒歩20分
又は「弘明寺口」よりバス5分「大池」下車徒歩6分
- 横浜市営地下鉄弘明寺駅より徒歩12分「弘明寺口」よりバス5分「大池」下車徒歩6分
- JR戸塚駅「戸塚駅東口」よりバス25分「大池」下車徒歩6分



Kanagawa Prefectural Yokohama Senior High School of International Studies

〈帰国生徒への主な対応〉

- ・1クラス20人以内の少人数学習、英語の授業は特別クラスを設置
- ・国語、数学、地歴、公民、理科での個別対応授業(国際バカロレアコースを除く)

〈特色ある教育活動〉

【国際科】

- ・多様な英語の専門科目を設置(イングリッシュスルーメディア、ディベート・ディスカッションIなど)
- ・第二外国語が必修(ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ハンガル、アラビア語)
- ・外国語を母語とする教員による授業(令和5年度の該当教員は15名)
- ・姉妹校交流(オーストラリア、台湾、ドイツ、フランス、スペイン、韓国、アメリカ、モロッコ等)
(※年度により変動あり)
- ・YIS English Workshop、留学生交流会、YIS 英語スピーチコンテストなど

【国際バカロレアコース】

- ・高等学校学習指導要領と国際バカロレア機構が定める教育内容の両方を満たすカリキュラムを実施
→日本の高校卒業資格と海外の大学に直接進学できるIBディプロマ資格の両方が取得可能
- ・英語と数学を英語で行う「デュアルランゲージディプロマプログラム(DLDP)」を実施
- ・令和2年度よりEnglish A(母語)とEnglish B(外国語)の両方を設置

SOAR TO THE WORLD ~さあ 翔びたとう 世界へ!~

横浜国際高等学校は「世界市民として自立し、将来、日本社会や国際社会におけるリーダーとして活躍する人材となるような生徒を育成する」を教育目標としています。平成26(2014)年度から平成30(2018)年度に文部科学省「スーパーグローバルハイスクール(SGH)」の指定を受けました。これ以降も、SGHに関連する教育内容を継続しつつ、外国語によるコミュニケーション能力や、世界に向けて情報発信できるICT活用能力・技術を育成するための充実した教育活動を行っています。平成29(2017)年度入学生より、国際科に改編され、平成31(2019)年度より国際バカロレアコースを新設しました。また、令和3(2021)年度より県教育委員会より「学力向上進学重点校エントリー校」の指定を受けています。

本校では授業の開始や終了を知らせるチャイムは鳴らさず、制服はブレザーを標準服として指定しています。生徒会活動や学校行事を生徒たちが自主的に運営します。

本校の教育活動の特色である国際交流は様々な形で展開されています。その1つは姉妹校交流です。オーストラリア・台湾・ドイツ・スペイン・フランス・韓国・モロッコ・アメリカの姉妹校と訪問・受入の交流活動を行っています(実施国は年度・国際情勢により変動します。訪問のみの国もあります)。姉妹校交流以外にも外国からの訪問団(者)を積極的に受け入れています。令和元(2019)年度にはフランス、ドイツ等の国々から訪問者を受け入れました。受入れの際には生徒の「国際交流委員」が主体的に関わり、歓迎行事等を実施するのも本校ならではの特徴です。長期留学生としては、韓国、タイ、オーストラリア、メキシコ等の国々からの高校生を受け入れました。

また、特色ある教育活動としては、1年次の7月に行われるYIS English Workshopでは、外国語を母語とする教員と3日間英語漬けの学校生活を送ります。さらに、「サマープログラム」では、高大連携協定校である「東京外国語大学訪問」を実施する等、本校の特色を反映した様々な企画を実施しています。9月には選抜された生徒たちによる「YIS英語スピーチコンテスト」が行われます。日本国際連合協会の後援を得た、ハイレベルなコンテストです。

(2) 教育課程

国際科では英語、英語以外の外国語、「国際」の学習に重点を置いており、15名もの外国語を母語とする教員がいるのも特色です(令和5年度)。英語の科目数は普通科の高等学校に比べてはるかに多く、「総合英語Ⅰ」「ディベート・ディスカッションⅠ」「エッセイライティングⅠ」「イングリッシュスルーメディア」などの科目で、【読む・書く・聞く・話す】の4技能の育成を図ります。また、表現力を高めるために少人数クラスを導入しています。英語以外の外国語は「ドイツ語」「フランス語」「スペイン語」「中国語」「ハンガリー語」

「ロシア語」の6言語の中から1科目を必修選択としています。また、「国際理解」「時事問題研究」等を設置し、国際社会の理解に重点をおいた学習も展開しています。

「総合的な探究の時間」は1年次が日本語によるテーマレポートの執筆やワークショップ、2年次は日本語による課題研究、3年次は英語による課題研究です。生徒は1年次で各自のテーマを決め、2年次は日本語で、3年次は英文で研究した内容を論文にまとめて発表します。優れたものについては全校生向けの発表会で発表します。2年次以降、特に3年次では科目選択の幅が大きく広がり、各自が能力・適性・進路希望等に応じて科目を履修できるのも本校のカリキュラムの特色です。

国際バカロレアコースでは、1年次で高等学校学習指導要領の定める必修科目を中心に学習し、2・3年次は国際バカロレアのディプロマプログラム(DP)科目を中心に学習します。現在DP科目には、全員が学習するコア【TOK、CAS、EE】と6教科グループ【グループ1(日本語A/English A SL/HL)、グループ2(English B SL/HL)、グループ3(歴史 SL/HL)、グループ4(物理 HL、化学 SL/HL、生物 SL/HL)、グループ5(数学 SL/HL)、グループ6(音楽SL)】があります。6つのグループから1科目ずつ選択し2年間取組みます。SL(標準レベル)3科目、HL(上級レベル)3科目の履修が必要で、グループ6の音楽の代わりにグループ4の化学を選択することもできます。

(3) 海外帰国生徒の学習

学習環境や学習量の違いを考慮して、国際科では国語、数学、地歴、公民、理科で「個別対応授業」を実施しています。「個別対応授業」は少人数での指導を行います。また、英語の授業は、一般生徒より高度な内容を取り扱う特別クラスを設けています。

海外帰国生徒には、海外在留経験を生かせる、国際理解や国際交流活動など多くの活躍の場があります。文化祭で展示や文集の発行をしたり、姉妹校訪問団や留学生を迎えたりする際には積極的に活動するなど、意欲的な活躍を期待しています。国際バカロレアコースでは令和2(2020)年度入学生より、英語を母語とする生徒向けのEnglish Aを設置しています。

(4) 海外帰国生徒の卒業後の進路

横浜国際高等学校の海外帰国生徒のほとんどが4年制大学に進学しています。外国語・文学系、社会科学系などの文科系分野、理科系では薬学部や医療系などの分野にも進んでいます。進学者の多い大学としては、東京外国語大学、横浜市立大学、明治大学、立教大学、上智大学、早稲田大学、慶應義塾大学、中央大学、青山学院大学などがあり、海外の大学への進学者も増えています。